



カトリック札幌司教区

札幌カリタス通信

January, 2014 No. 15



＝宮古教会と隣接する小百合幼稚園を会場に行われた「わかちあいマーケット」の様子＝

「東北の被災地支援活動は4年目に入ります」

運営委員長 上杉 昌弘 神父

宮古市で、大震災と津波の被災者に寄り添うボランティアが始まって、まる3年。カトリック教会が現地で活動をしている拠点は「カリタスベース」という名称で親しまれています。「カリタスさんが来るなら集まろう」といった具合です。東北3県にまたがる8か所は、以下のように仙台教区から任されています。札幌教区は宮古市を担当させて頂いています。

- ①いわき市の「モミの木ベース」：さいたま教区が運営
- ②福島県の「カリタス原町ベース」：東京管区運営 東京教区のCTVC（カトリック東京ボランティアセンター）が主体となり、ボランティアバス（ボラパック）を週に一度運行し、東京から福島県の各地に大学生などを派遣している。

・・・・・・・・ 目 次 ・・・・・・・・

- 1. 東日本大震災復興支援の2013年一年間の動き ①－④
- 2. 札幌カリタス運営委員会の報告 ⑤
- 3. 2013年援助金交付内容と交付団体の活動情報 ⑥
- 4. 2012年度献金者名簿 ⑦

- ③「福島デスク」：仙台教区サポートセンターが直轄運営。福島県全般の情報発信を行う。代表の柳沼さんは、担当になる前から「福島野菜畑」運動を起こし、風評被害にあって売れ残る野菜を購入し東京などに送る。
- ④「カリタス大船渡ベース」：大阪管区が運営。阪神淡路大震災の経験から、10年の計で活動に当たっている。常駐スタッフには札幌出身のシスターも。
- ⑤「カリタス石巻ベース」：仙台教区サポートセンターが直轄運営。立ち上げ当初のスタッフは後に神学生（札幌教区）に。
- ⑥「カリタス米川ベース」：同じく仙台教区直轄。南三陸町での支援活動。ここは青年のボランティアが多く、農漁業作業や瓦礫片付けの仕事も請け負う。
- ⑦「カリタス釜石」：仙台教区直轄だったが、一年前にNPO法人となって地域のボランティア諸団体の要となって活動している。東京のイグナチオ教会の支援グループが大学生ボランティアを送っている。
- ⑧「札幌カリタス宮古ベース」：札幌教区サポートセンターが運営する。仮設住宅訪問を中心にして、盛岡教会、宮古教会の方々とともに継続。5人の世話人を中心に札幌の後方支援部が、ボランティア呼びかけ、調整、オリエンテーション、報告会、レター発行などを担う。

仙台での全ベース会議の折に私は、ボランティアが少なくなっているのもっと集まるように、司教団がキャンペーンを行ってはどうかと話した時、南三陸の若いベース長から異が唱えられました。「行くべき、というような呼び掛けには反対です。ボランティアの皆さんは、被災地に来て人と出会い、意義を見出して仲間を伴ってまた来てくれている。ボランティアは義務感ではなく喜びとなっているのではないか」と語ってくれました。そうなのだ気づかされ、心強く感じました。

活動は4年目に入ります。どうぞ皆さんいらしてみてください。宮古市以外にも他の地域、福島県でのボランティアも案内しています。お問い合わせ先は、「宮古ボランティアニュース」や、教区ホームページなどご覧ください。

2013年一年間の東日本大震災復興支援に関する報告

■札幌カリタス宮古ベースの一年間の主な動き■

※活動の詳細は札幌教区 Web ページをご覧ください。

◆2013年一年間の仮設住宅での移動カフェ開催数・・・306回

西ヶ丘 = 19回 清寿荘 = 18回 高浜 = 18回 実田 = 17回 田鎖 = 17回
 浄土ヶ浜 = 17回 荷竹 = 16回 児童相談所 = 16回 きれまち = 15回
 鍬ヶ崎 = 15回 2中 = 15回 藤原 = 14回 崎山 = 14回 近内 = 13回
 なかよし公園 = 13回 藤畑 = 12回 河南 = 12回 中里 = 11回 本町 = 10回
 板屋 = 8回 千鶏 = 5回 赤前 = 4回 愛宕小 = 3回 あゆみ公園 = 3回
 北浜 = 1回

◆宮古ベースのボランティア数・・・宮古ベースの週間報告による

1年間で、1週間ごとの延べ人数〔一人が約1週間参加して1人と計算〕で230人の方にボランティアとして参加して頂きました。

◆一年間の主な動き

◇2013年1月

- ・1月8日（火）から仮設訪問の移動カフェが始まりました
- ・手作りのひざ掛け・マフラー・ネックウオーマー・ソックスカバーを教区の皆様から支援して頂き仮設の皆様に喜ばれました
- ・移動カフェの昼食時に札幌ラーメンを作って召し上がっていただきとても喜ばれました
- ・「いつまでこの活動を続けてくれるのか？続けてきてほしい。」などのお話が聞かれ始めました
- ・2013年3月末で宿泊施設として提供されている仮設住宅を返還しなければならないので、宮古教会の信者さんに協力頂き、宿泊施設探しが始まりました。しかし、震災の関係で宮古市には空き部屋はほとんどない状態
- ・1月16日は雪が20cmほど積もったので、仮設住宅の子供たちの希望でかまくらが完成。北海道の雪では味わえない体験ができました

◇2013年2月

- ・2月3日（日）宮古教会の「謝肉祭」に参加し、長崎教区から宮古教会に派遣されている中尾神父様や信徒の皆さんと交流
- ・さをり織り・編み物など仮設住宅での手芸作りへの支援を行う

◇2013年3月

- ・春休み入り、学生がボランティアに参加。仮設でも好評を得る
- ・3月11日丸2年を迎え、大船渡教会で仙台教区サポートセンターの追悼ミサに参加
- ・3年目の活動に入り、細くとも長く今の活動を続け、被災者の方々に寄り添いたいと願う
- ・3月一杯で仮設住宅の生活支援員が常駐しなくなり、4月以降は集会室に集まる人数が減少した仮設も出始める

◇2013年4月

- ・宮古教会の主任司祭が長崎教区の中尾神父様から那覇教区の中（あたり）神父様に交替
- ・4月の復活祭後から宮古ベース世話人の輪番制がスタート
- ・仮設住宅で棚を希望するお宅で設置工事を4日間行う
- ・4月21日第8回わかちあいマーケットが宮古教会を会場にみぞれ交じりの中での開催となりましたが約300名が来場。会場には早くから並ぶ人がいたため30分早めて開場となりました。
千葉茂原教会から手伝いに駆けつけて下さいました。
- ・宮古社協主催で仮設住宅の方々の作品展が末広商店街りあす亭で開催
- ・宮古社協から個別訪問の中で気付いたことがあったら報告して下さいとの要望があり、孤立している方への対応も可能となりました
- ・4月も半ばを過ぎると、復興住宅の出来る場所や時期が話題にのぼり始めました

◇2013年5月

- ・ボランティアが「おもしろ実験」を行い好評。理由を熱心に考えるお年寄りに感服しました
- ・北海道からのボランティアが減少したので、5月からは宮古教会・盛岡四ツ谷教会の方々との協働の機会が増えました
- ・那覇教区の押川司教様が宮古を訪問し、移動カフェにも参加し被災地の方々と親交を深める

- ・さをり織りの卓上織機を寄贈し、これまで以上に組み立てると喜ばれる
- ・宮古教会に那覇教区のボスコ神父様が中神父様と交代で着任
- ・皆様のご協力により、ボランティアの新しい宿泊施設が見つかり6月末に引っ越し可能となる

◇2013年6月

- ・幼児を存分に遊ばせるイベント「わんぱくひろば」にNPOカリタス釜石と一緒に参加
- ・6月25日にはカトリック復興支援全国担当者会議の現地視察で、平賀司教様はじめ18名が鉾ヶ崎地区を視察
- ・6月28日から新しい宿泊施設（宮古市佐原）への引っ越し作業を行い無地完了

◇2013年7月

- ・7月は那覇教区のシスター方が3週連続でボランティアに参加
- ・宮古教会へ那覇教区のナズ神父様が着任
- ・釜石ぼらまつりに、岩手4ベースが合同で参加し、宮古ベースはジンギスカンを提供
- ・津軽石中学の2年生5名がボランティアを体験。子供たちと遊んだり掃除をしたりと熱心に活動してくれて、合唱も披露してくれました

◇2013年8月

- ・8月11日 宮古教会で菊地司教様司式の被災者追悼ミサが行われました
- ・伊藤光湖さんのバイオリンコンサートが今年も行われました
- ・お盆は活動を控え、帰省された方々の泊まる部屋に集会場が提供されたりするため12日のみ移動カフェを実施
- ・8月17日は「地の森ふれあい月市」に岩手4ベースで参加し、宮古教会の信者さんの協力を頂き宮古ベースはいつものジンギスカンを提供
- ・大学の夏休みに入り、藤女子大の学生が3週にわたりボランティアリレーを行う。仮設住宅の方々元気をもらったと喜んでいました
- ・宮古社協主催の「わくわくまつり」に参加し恒例のジンギスカンを提供
- ・頂いた素材を使ったお昼の提供は、「いつも一人で食べているので、とてもうれしく美味しかった」との言葉を頂きます

◇2013年9月

- ・9月に入ると、以前からみると大分表情が和らいできたように見受けられるが、具体的に進まない復興住宅のことや、仮設住宅での生活が長く続きストレスが表面化しているように感じられる
- ・足湯のボランティアに皆さん寛がれ、本音を語られるかたもいらっしまった

◇2013年10月

- ・「元気でそう・宮古・絆・感謝祭」参加。カトリック小百合幼稚園児の太鼓演奏は息の合った見事なものでした。来場者は約700名。
- ・ちびっこ広場（東日本大震災子ども支援センター岩手事務局主催）の安全見守りのために参加

◇2013年11月

- ・11月3日 宮古教会で第9回わかちあいマーケット開催。約300人が来訪。
- ・昼食会のチラシを作り全戸訪問し参加を募り、各戸の様子が伺えた。北海道の秋の味覚じゃがバターは初めての方もいらっしまった大好評でした
- ・宮古教会主任がマイケル神父様からロベス神父様に交替
- ・久しぶりの田老地区は万里の長城と比喻される防波堤は、かさ上げの板塀が見えて対策が進んでいる様子が伺えた

- ・宮古市災害公営住宅の入居予定時期は最短でも27年4月からとの記事が発表され、仮設入居者の不安な日々は続いている

◇2013年12月

- ・アメリカと韓国から来日している方がボランティアに参加し話題も豊富
- ・北海道から送られてきた綿入れチャンchanコと毛糸の靴下などの寄贈品を喜んでうけとって頂いた
- ・冬場は足湯が人気があり、ゆっくり話を聞くことができました。
- ・集会所にカリタス来訪時しか人が集まらないとの声を聞き、必要性が感じられた
- ・12月 忘年会を企画している仮設が2か所ほど見受けられ、昨年までとの変化が伺われます
- ・降誕祭を迎えるにあたって、ささやかなクリスマスプレゼントを仮設住宅の各戸に届ける

■2013年12月末現在の支援募金の収支内訳■

◆募金額 54,059,083円 (昨年12月末 45,754,787円)

◆支出内訳

- ①ボランティア派遣・活動費 12,486,919円 (昨年12月末 8,240,931円)
- ②支援物資購入費 10,697,373円 (昨年12月末 9,555,937円)
(分かち合いマーケット9回開催、仮設住宅の備品寄贈など)
- ③仮設住宅での移動カフェ運営費 918,312円 (昨年12月末 707,696円)
- ④他の団体への活動助成 3,874,775円 (昨年12月末 3,090,800円)
(仮設住宅補修の材料費、暖房器具、福島の子どもが北海道で夏休み、支援コンサートなどを援助)
- ⑤後方支援事務局経費 282,291円 (昨年12月末 176,082円)
(宮古ベース News Letter の印刷・発送費など)
- ⑥ボランティア宿泊施設取得費 5,330,450円 (今期取得)
(宮古でのボランティア宿泊施設としての土地付き中古住宅の購入費)

◆収支差額 20,468,963円 (昨年12月末 23,641,164円)

これからも長期的な支援活動が必要ですので有効に活用させていただきます。

■これからも被災者の方々に寄り添います■

「カリタスさん続けてきてくれるよね。」との声が聴かれます。仮設住宅から出ていく人が出てきて、残る人の不安は増してきます。札幌教区サポートセンター(札幌カリタス)はこれからも被災地の方々が必要としてくださる間は皆さんの傍に寄り添っていたいと考えています。

■支援募金は次の口座をお願いします■

◆銀行へ振り込む場合

銀行・口座番号 北洋銀行 苗穂支店 (普通預金) 3312290
口座名 宗教法人カトリック札幌司教区 札幌カリタス

◆郵便局へ振り込む場合

郵便振替口座番号 02740-8-35329 口座名 札幌カリタス

※ 通信欄に「東日本大震災支援募金」と明記してください。

札幌カリタス運営委員会の報告

キリストの愛を証ししその愛を告げ知らせるために、皆様のご協力を頂きながら札幌カリタスの活動は行われています。これからも、神様のみ心を信じてキリストの愛を証しする活動を行っていきたいと思います。2012年活動報告と決算報告、2013年度活動計画、援助金交付内容を報告させていただきます。今後とも、皆様の変わらぬご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

主の恵みが皆さんの上にありますように。

1. 2012年度活動報告

2011年4月11日から東日本大震災被災地である宮古市へのボランティア派遣を続けてきましたが、2012年度も札幌カリタスは、被災地の方々が必要としている限りボランティアを派遣し続けることを決意して、東日本大震災の復興支援を中心に活動してまいりました。また、北海道内で福祉活動を行っている諸団体への資金援助も従前通り行いました。

月	内 容
5月	2012年度援助金交付
6月	運営委員会開催
7月	札幌カリタスの日ポスターと献金のお願い文を発送
8月	札幌カリタスの日
12月	2013年度援助金申請書の配布・受付開始
1月	2013年度援助金申請書の締め切り 札幌カリタス通信14号の発行
2月	運営委員会・援助審査会を開催

2. 2012年度一般会計決算報告

2012年4月1日～2013年3月31日（単位：円）

収 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 額	科 目	予 算	決 算	差 額
寄 付 金 収 入	1,800,000	1,669,508	130,492	諸団体援助金支出	1,300,000	1,600,000	△300,000
受 取 利 息	1,000	1,918	△918	広 報 費 支 出	100,000	84,000	16,000
積立取崩収入	0	0	0	行 事 費 支 出	260,000	0	260,000
				旅費交通費支出	10,000	0	10,000
				事 務 経 費 支 出	70,000	56,550	13,450
				積立組入支出	0	987	△987
				予 備 費	100,000	0	100,000
計	1,801,000	1,671,426	129,574	計	1,840,000	1,741,537	98,463
前年度繰越金	2,600,000	2,708,717	△108,717	次年度繰越金	2,561,000	2,638,606	△77,606
合 計	4,401,000	4,380,143	20,857	合 計	4,401,000	4,380,143	20,857

3. 2013年度活動計画

2013年度以降も被災地の方々が必要としている限り、日本のカトリック教会として All Japan で取り組んでいく考えであります。そのため、東日本大震災復興支援募金を継続して募ります。

また、北海道内で福祉活動を行っている諸団体への資金援助、「カトリック福祉施設の集い」や「社会福祉シンポジウム」も計画し、札幌カリタス通信15号の発行、札幌カリタスの日献金も従前通り行ってまいります。運営委員会を年2回、援助審査会を年1回開催して札幌カリタスを運営していきます。

4. 2013年度一般会計予算

2013年4月1日～2014年3月31日（単位：円）

取 入 の 部				支 出 の 部			
科 目	2013予算	2012予算	差 額	科 目	2013予算	2012予算	差 額
寄 付 金 取 入	1,800,000	1,800,000	0	諸団体援助金支出	1,450,000	1,300,000	150,000
受 取 利 息	1,000	1,000	0	広 報 費 支 出	100,000	100,000	0
積立取崩収入	0	0	0	行 事 費 支 出	100,000	260,000	△160,000
旅費交通費支出	10,000	10,000	0				
事務経費支出	70,000	70,000	0				
積立組入支出	0	0	0				
予 備 費	100,000	100,000	0				
計	1,801,000	1,801,000	0	計	1,830,000	1,840,000	△10,000
前年度繰越金	2,600,000	2,600,000	0	次年度繰越金	2,571,000	2,561,000	10,000
合 計	4,401,000	4,401,000	0	合 計	4,401,000	4,401,000	0

5. 2013年度援助金交付額

①NPO法人ニムビン	300,000円
②NPO法人札幌マック	300,000円
③NPO法人札幌マック女性作業所	100,000円
④NPO法人北海道ダルク	150,000円
⑤NPO法人とちかダルク	300,000円
⑥NPO法人自立支援事業所ベトサダ	300,000円
計	1,450,000円

6. 2013年度の援助金交付内容

札幌カリタス運営委員による援助金審査会が2月下旬に開催され、教区内で福祉活動を行っています下記の内容に、皆様から頂きました献金を援助させて頂きました。

- ①NPO法人ニムビン…障害者の社会の受け入れ先として、通所者の精神面・生活面での自立支援を行っています。
事務所運営に必要な事務機器(パソコン、テーブル、いす)の購入費用を援助しました。
- ②③NPO法人札幌マック…アルコール・薬物依存者の回復と社会復帰のための自立支援を行っています。
男性作業所には、共同作業所トイレの改修工事費用と、パブリックスペースのクロス張り替え工事の費用を援助しました。
女性作業所には、作業所のパンフレット作成費の援助を行いました。
- ④NPO法人北海道ダルク…薬物依存者の回復を支援する専門のリハビリを行っています。薬物依存症の現状と回復のメッセージを伝え、市民に広めるためのフォーラムの開催費用を援助しました。
- ⑤NPO法人とちかダルク…薬物依存者の回復を支援する専門のリハビリを行っています。十勝地区での薬物乱用防止セミナー及び研修会開催費用の援助を行いました。
- ⑥NPO法人自立支援事業所ベトサダ…ホームレスの方々を路上生活から保護し、仮宿舎を無償で提供して社会復帰（自立）に向かったの支援事業（生活・医療・就職活動など）を行っています。就労支援のために必要なボランティアの人件費（人件費としては今期に限定）への援助を行いました。

2012年度献金者一覧

(2012年4月1日～2013年3月31日 敬称略)

※ 皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

■教会

利尻教会、留萌教会、北広島教会、北見教会、北1条教会、富良野教会、富岡教会
美唄教会、八雲教会、柏林台教会、当別教会、滝川教会、大麻教会、千歳教会
神居教会、新田教会、小野幌教会、住ノ江教会、手稲教会、室蘭教会、枝幸教会
山鼻教会、砂川教会、恵庭教会、倶知安教会、花川教会、円山教会、伊達教会
旭川5条教会、名寄教会、北26条教会、北11条教会、苫小牧教会、湯川教会、稚内教会
真駒内教会、岩見沢教会、釧路教会、北11条教会マリア会、東室蘭教会、登別教会
月寒教会、静内教会、旭川6条教会、北見地区大会、函館地区合同ミサ

■修道院

天使北広島修道院、聖心会札幌修道院、旭川マリア院、天使札幌修道院
トラピスト修道院、トラピストヌ修道院、函館マリア院、聖ベネディクト女子修道院
十勝カルメル修道院、伊達カルメル修道院、光星修道院

■団体・個人

函館カリタスの園、梅本里美

◆札幌カリタスの活動のために献金をよろしくお願いします。

■札幌カリタスへの献金振込口座 ■

郵便振替口座番号 02740835329

口座名 札幌カリタス

※被災地への支援募金の場合は、通信欄に「東日本大震災支援募金」と明記してください

宗教法人 カトリック札幌司教区

札幌カリタス

〒060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館

Tel 011-241-2785 Fax 011-221-3668

E-mail: officecsd@csd.or.jp <http://www.csd.or.jp/charitas/>